



4. 免許・資格等

免許・資格

免許・資格の取得には、定められた単位を修得することが必要です。修得した者には、卒業時または卒業後に免許状、修了証、証明書が与えられます。

免許・資格	授与	学校教育専攻	保育専攻	養護教諭専攻
教員免許	免許状	○	○	○
保育士	資格証明書		○	
学校図書館司書教諭	修了証	○		
ピアヘルパー		○	○	○

履修登録

- ① 免許・資格課程の授業科目には、所属する学部・学科の卒業単位になるものと、卒業単位にならない免許・資格関連科目があります。
- ② 免許・資格の各課程に共通している科目を履修した場合、その単位はいずれの課程においても有効です。
- ③ 教職課程の「教職に関する科目」のうち、「教職の意義等に関する科目」「教育の基礎理論に関する科目」は、いずれの課程にも共通なものです。ただし、「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」「教育実習」「教職実践演習」には、各課程に共通なものとそうでないものがあります。
- ④ 教職課程の「教科に関する科目」は、指定のある場合を除き、所属する学部・学科の開講科目を履修してください。
- ⑤ 免許・資格課程を履修するには、定められた学年に、履修登録をしなければなりません。登録料、登録期間は別途掲示等で指示します。詳細についてはガイダンスで説明します。
- ⑥ 免許・資格課程の履修登録後、登録を取り消す場合は届け出てください。

教職課程

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教育職員(教員)になるためには、それぞれ相当の教員免許状が必要です。教員免許状取得のためには、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定められた教員養成の教育課程(教職課程)を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

教員免許状を取得しようとする者は、卒業後、教職に就く意思が明確であり、教員となるにふさわしい人格と学業への熱意を持ち、心身ともに健康でなければなりません。したがって、免許状の取得のみを目的にしたり、資格を取得しておけば何かの役に立つのではないかという安易な気持ちで履修することはできません。また、教育実習年度に実施される教員採用試験(実習した自治体)の受験も必須です。

教員免許状の取得

教育職員免許法に基づき、所定の科目の単位を修得することにより、下記の免許状を取得することができます。

学校教育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
保育専攻	幼稚園教諭一種免許状
養護教諭専攻	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(保健) 高等学校教諭一種免許状(保健)

(注意) ・学校教育専攻は、幼稚園・小学校教諭または小学校・中学校・高等学校教諭のいずれかの取得になります。

教育実習・養護実習について

教育実習・養護実習は、教育現場を体験することにより、教育についての理解を深め、情熱を培い、真の教育者としての基盤を作ることを目的とします。

実習生は、教員となるにふさわしい適性(人物・学力)を備えた学生であって、教員になることを第一希望とする者です。したがって、品行、学業成績など実習生としてふさわしくないと判断された者は、実習をすることができません。

教育実習・養護実習の時期・期間

- ① 実習は、原則として養護実習は3年次、教育実習は4年次に行われます。
- ② 実習期間は、例年、6月1日または10月1日を含む週を第1週として、幼稚園、小学校の教育実習は4週間、中学校・高等学校の両免許状取得者の教育実習、養護実習は原則として3週間、高等学校の免許状のみの教育実習は2週間行われます。
- ③ 実習校の決定、依頼方法、事前指導および実習校との打合せ、実習終了後の手続きと事後指導、教員免許状の授与申請および交付については、後日教職ガイダンス等で詳しく説明します。

介護等体験について

「小学校教諭一種免許状」または「中学校教諭一種免許状」を取得しようとする者は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成9年法律第90号）により、特別支援学校または社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが義務付けられています。

- ① 「介護等体験」は、原則として3年次に行います。
- ② 「介護等体験」の期間は7日間とし、そのうち特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間行います。
- ③ 教育実習と同様に、ガイダンス及び事前・事後指導等には必ず出席してください。

教職課程の履修について（E115・E215生）

（1）教職課程の履修条件

教職課程を履修するためには、原則として、次の履修条件を満たしている必要があります。

2年次春学期終了時：①卒業単位数の内、60単位以上の単位を修得していること。

②2年次春学期までに開講されている「教職に関する科目」の成績が次の条件を満たしていること。

1. 「不可」が3科目以内であること。
2. 「失格」がないこと。

2年次秋学期終了時：①卒業単位数の内、80単位以上の単位を修得していること。

②「共生人間論Ⅰ（ブツダと法然）」を修得していること。

③「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を全て修得していること。

④2年次秋学期までに開講されている「教職に関する科目」の成績が次の条件を満たしていること。

1. 「不可」が3科目以内であること。
2. 「失格」がないこと。

3年次春学期終了時：①3年次春学期までに開講されている「教職に関する科目」の成績が次の条件を満たしていること。

1. 「不可」が3科目以内であること。
2. 「失格」がないこと。

②（養護教諭免許状取得希望者のみ）

3年次春学期までに開講されている「養護に関する科目」を全て修得していること。かつ、3年通年科目は履修中であること。なお秋学期開講科目は履修登録が可能なこと。

3年次秋学期終了時：①卒業単位数の内、110単位以上の単位を修得していること。

②3年次秋学期までに開講されている「教科に関する科目」「養護に関する科目」及び「保育内容の指導法」「各教科の指導法」を全て修得していること。ただし選択科目を除く。

<養護教諭免許状取得希望者>

養護教諭免許状取得希望者は、原則として以下の履修条件もあわせて満たすこと。

①「臨床実習Ⅰ」を履修するには、「救急処置法」、「救急処置実習」、「看護学」、「看護学実習Ⅰ」を修得していること。または、履修登録済みであること。

②「臨床実習Ⅱ」を履修するには、「看護学実習Ⅱ」を修得していること。または、履修登録済みであること。

（2）履修条件に満たない場合

- ・履修条件に満たない場合は、「介護等体験」「教育実習」「養護実習」の実習先が決定していても、該当学年での「介護等体験」「教育実習」「養護実習」はできません(実習は延期になります)。

- ・履修条件に満たない場合は、実習に関わる科目（「教育実習指導」「養護実習指導」「保育・教職実践演習」「教職実践演習」）の履修はできません。それ以外の科目の履修はできます。
- ・なお、履修条件を満たしていても、学生としてふさわしくない言動のある者、身だしなみやマナーのよくない者など教員となる資質が欠如していると判断される者も、該当年次での「介護等体験」「教育実習」「養護実習」はできません(実習は延期になります)。

(3) 教職課程委員会の審査

履修条件を満たしているかどうかを確認するため、毎学期、教職課程委員会で単位の修得状況等の審査を行います。特に3年次春学期終了時には厳しく審査を行います。その結果、指導が必要な者には、教職履修に関する意思確認の面談・指導を行います。

免許取得の最低単位数について

次頁以降の教職課程科目一覧の表に示す「免許取得の最低単位数」及び授業科目は、本学の規定によるものです。

教職ガイダンスについて

教職課程履修者は、必ず教職ガイダンスに出席してください。やむを得ない場合を除き、ガイダンスを欠席した者は教職課程履修の意思が無いものとみなします。

ガイダンスの日時は学内掲示板にて連絡します。

『教職履修カルテ』について

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから、「保育教職実践演習」「教職実践演習」(4年次秋学期)の授業を受けるまでの間に、各自『教職履修カルテ』(自己評価シート)を作成しなければなりません。

『教職履修カルテ』とは、学生自身が教職課程の授業の中で教師として必要とされる資質能力について、どの程度身に付けたのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを考える手がかりにするためのものです。

『教職履修カルテ』は、1年次から4年次まで春学期と秋学期の2回、教職履修カルテ登録期間にWeb上(UNIVERSAL PASSPORT)で登録してください。期間内に登録完了していない学生は、教職履修の意思がないものとみなされます。やむを得ない理由で、期間中の登録が不可能な場合は、必ず事前に教職センターに連絡してください。

教職課程科目一覧

▼教育学部教育学科（E115生・E215生）

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目						
免許法施行規則に定める科目 及び単位数		左記に対応する開設授業科目				備 考
科 目	単位数	授 業 科 目	開講 年次	単 位 数		
				必修	選択	
日 本 国 憲 法	2	憲 法 と 基 本 権	1	2		
体 育	2	健 康 と 運 動	1	2		} 1科目選択必修
		ス ポ ー ツ (バドミントン)	1		1	
		ス ポ ー ツ (テ ニ ス)	1		1	
		ス ポ ー ツ (バスケットボール)	1		1	
外国語コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	1		1	} 2科目選択必修
		総 合 英 語 II	1		1	
		英 会 話 I	1		1	
		英 会 話 II	1		1	
		中 国 語 I	2		1	
		中 国 語 II	2		1	
情 報 機 器 の 操 作	2	情 報 リ テ ラ シ ー A	1	1		
		情 報 リ テ ラ シ ー B	1	1		
免許取得の最低単位数				6	3	

教職課程科目一覧

▼幼一種免（E115生）

②教職に関する科目								
免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考	
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	開講年次	単位数			
					必修	選択		
に教職に関する意義科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教 職 概 論	1	2			
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 	6	教 育 原 理	1	2		} 1科目 選択必修	
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） 		発 達 心 理 学	2		2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 		教 育 心 理 学	2		2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 		教 育 制 度 論	1		2		
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 	18	保 育 課 程 論	2		2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の指導法 		保 育 内 容 総 論	1		2		
			保 育 内 容（健 康）	1		2		
			保 育 内 容（人 間 関 係）	1		2		
			保 育 内 容（環 境）	1		2		
			保 育 内 容（言 葉）	1		2		
			保 育 内 容（表 現）	2		2		
			幼 児 教 育 指 導 法	2		2		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 	教 育 方 法 ・ 技 術 論〔幼・小〕	3		2				
進路指導、生徒指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児理解の理論及び方法 	2	子 ども 理 解	3		2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 		教 育 相 談〔幼・小〕	3		2		
教育実習		5	教育実習指導〔幼稚園〕	3～4		1	事前事後指導 1単位を含む	
			教 育 実 習〔幼稚園〕	4		4		
教職実践演習		2	保育・教職実践演習〔幼稚園〕	4		2		
免許取得の最低単位数						35	2	

教職課程科目一覧

▼小一種免 (E115生)

②教職に関する科目							
免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
					必修	選択	
に教職する意義等の科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教 職 概 論	1	2		
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 	6	教 育 原 理	1	2		} 1科目 選択必修
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) 		発 達 心 理 学	2		2	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 		教 育 心 理 学	2		2	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 		教 育 制 度 論	1	2		
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の指導法 	22	教育課程論〔小学校〕	2	2		書写を含む
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 		国語科教育法 I	3	2		
			社会科教育法 I	2	2		
			算数科教育法 I	3	2		
			理科教育法 I	2	2		
			生活科教育法	2	2		
			音楽科教育法	3	2		
			図画工作科教育法	3	2		
家庭科教育法	3	2					
体育科教育法	3	2					
生徒指導、進路指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 	4	生徒指導論(進路指導を含む)〔小学校〕	3	2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) 		教育相談〔幼・小〕	3	2		
教育実習		5	教育実習指導〔小学校〕	3~4	1		事前事後指導 1単位を含む
			教育実習〔小学校〕	4	4		
教職実践演習		2	教職実践演習〔教諭〕	4	2		
免許取得の最低単位数					43	2	

教職課程科目一覽

▼中一種・高一種免（英語）（E115生）

②教職に関する科目							
免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
					必修	選択	
に教職に関する意義等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教 職 概 論	1	2		
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 	6	教 育 原 理	1	2		} 1科目 選択必修
			発 達 心 理 学	2		2	
			教 育 心 理 学	2		2	
			教 育 制 度 論	1	2		
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 	中12 高6	教育課程論〔中・高・養・栄〕	2	2		
			<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の指導法 	英 語 科 教 育 法 I	2	2	
	英 語 科 教 育 法 II			2	2		免許・資格関連科目
	英 語 科 教 育 法 III			3	2		免許・資格関連科目
	英 語 科 教 育 法 IV			3	2		免許・資格関連科目
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の指導法 		道徳教育指導論〔中・養・栄〕	3		2	中1種免のみ
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の指導法 		特別活動論〔中・高・養・栄〕	3	2		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 	教育方法・技術論〔中・高・養・栄〕	2	2				
生徒指導、進路指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	4	生 徒 指 導 論（進路指導を含む）〔中・高〕	3	2		
			教育相談（カウンセリングを含む）〔中・高・養・栄〕	2	2		
教育実習		中5 高3	教育実習指導〔中・高〕	3~4	1		事前事後指導1単位を含む
			教 育 実 習〔中学校〕	4		4	中1種免必修
			教 育 実 習〔高校〕	4		2	高1種免必修
教職実践演習		2	教職実践演習〔教諭〕	4	2		
免許取得の最低単位数					27	8	中1種免
					27	4	高1種免

教職課程科目一覽

▼中一種・高一種免（保健）（E215生）

②教職に関する科目							
免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
					必修	選択	
に教職する意義等の科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教 職 概 論	1	2		
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 	6	教 育 原 理	1	2		
			発 達 心 理 学	2		2	} 1科目 選択必修
			教 育 心 理 学	2		2	
			教 育 制 度 論	1	2		
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 	中12 高6	教育課程論〔中・高・養・栄〕	2	2		
			<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の指導法 	保 健 科 教 育 法 I	2	2	免許・資格関連科目
	保 健 科 教 育 法 II			2	2	免許・資格関連科目	
	保 健 科 教 育 法 III			3	2	免許・資格関連科目	
	保 健 科 教 育 法 IV			3	2	免許・資格関連科目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の指導法 		道徳教育指導論〔中・養・栄〕	3		2	中1種免のみ
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の指導法 		特別活動論〔中・高・養・栄〕	3	2		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 	教育方法・技術論〔中・高・養・栄〕	2	2				
生徒指導、進路指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	4	生 徒 指 導 論（進路指導を含む）〔中・高〕	3	2		
			教育相談（カウンセリングを含む）〔中・高・養・栄〕	2	2		
教育実習		中5 高3	教育実習指導〔中・高〕	3～4	1	事前事後指導1単位を含む	
			教 育 実 習〔中学校〕	4		4	中1種免必修
			教 育 実 習〔高校〕	4		2	高1種免必修
教職実践演習		2	教職実践演習〔教諭〕	4	2		
免許取得の最低単位数					27	8	中1種免
					27	4	高1種免

教職課程科目一覧

▼養教一種免（E215生）

②教職に関する科目							
免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
					必修	選択	
に教職に関する意義等の科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教 職 概 論	1	2		
関教育の基礎理論に	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 	4	教 育 原 理	1	2	} 1科目 選択必修	
			発 達 心 理 学	2	2		
			教 育 心 理 学	2	2		
			教 育 制 度 論	1	2		
教育課程に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 ・道徳及び特別活動に関する内容 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 	4	教育課程論〔中・高・養・栄〕	2	2		
			道徳教育指導論〔中・養・栄〕	3	2		
			特別活動論〔中・高・養・栄〕	3	2		
			教育方法・技術論〔中・高・養・栄〕	2	2		
談生徒指導、教育相談に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	4	生徒指導論〔養・栄〕	3	2		
			教育相談（カウンセリングを含む）〔中・高・養・栄〕	2	2		
養護実習		5	養 護 実 習 指 導	3通	1	事前事後指導 1単位を含む	
			養 護 実 習	3	4		
教職実践演習		2	教職実践演習〔養護教諭〕	4	2		
免許取得の最低単位数					25	2	

教職課程科目一覧

▼幼一種免（E115生）

③教科に関する科目					
免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
国語	国語科研究（書写を含む）	2	2		
生活	生活科研究	2	2		
音楽	音楽Ⅰ	1	2		
	音楽Ⅱ	1	1		
	音楽Ⅲ	2	1		
	音楽Ⅳ	2	1		
図画工作	図画工作Ⅰ	2	2		
	図画工作Ⅱ	2	2		
体育	子ども体育Ⅰ	1	2		
	子ども体育Ⅱ	2	2		
免許取得の最低単位数			17	0	

教職課程科目一覧

▼小一種免（E115生）

③教科に関する科目					
免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
国語 (書写を含む。)	国語科研究（書写を含む）	2	2		
社会	社会科研究	1	2		
算数	算数科研究	2	2		
理科	理科研究	2	2		
生活	生活科研究	2	2		
音楽	音楽 I	1	2		
	音楽 II	1	1		
	音楽 III	2		1	
	音楽 IV	2		1	
図画工作	図画工作 I	2	2		
	図画工作 II	2	2		
家庭	家庭科研究	2	2		
体育	体育科研究	2	2		
	子ども体育 I	1		2	
	子ども体育 II	2		2	
免許取得の最低単位数			21	0	

▼小一種免（E115生）

④教科又は教職に関する科目					
免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
教科又は教職に関する科目	外国語活動研究	3		2	
	外国語活動教育法	3		2	
免許取得の最低単位数			0	0	

教職課程科目一覧

▼中一種・高一種免（英語）（E115生）

③教科に関する科目					
免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備 考
	授業科目	開講年次	単位数		
必修			選択		
英 語 学	英 語 学	2	2		
	英 語 音 声 学	3	2		
	英 語 の 構 造	3	2		
英 米 文 学	アメリカ文学研究	3	2		
	イギリス文学研究	4	2		
英語コミュニケーション	英 語 演 習 I	1	2		
	英 語 演 習 II	1	2		
	英 語 演 習 III	2	2		
	リーディング I（精読）	1	2		
	リーディング II（多読）	1	2		
	T O E I C 演 習	1	2		
	英語プレゼンテーション	4	2		
異文化理解	異文化コミュニケーション	3	2		
	英 語 圏 文 化 研 究	1	2		
免許取得の最低単位数			28	0	

※ は、免許法施行規則に定める科目区分等における一般的包括的な内容を含む科目。

教職課程科目一覧

▼中一種免・高一種免（保健）（E215生）

③教科に関する科目					
免許施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考	
	授 業 科 目	開講年次	単位数		
			必修		選択
生理学及び栄養学	生 理 学	1	2		
	栄 養 学	2	2		
	子どもの食と栄養	2	2		
	微 生 物 学	2	2		
	解 剖 学	1	2		
衛生学及び公衆衛生学	衛 生 学	2	2		
	公 衆 衛 生 学	1	2		
	予 防 医 学	3	2		
	公衆衛生学実習	2	1		
学 校 保 健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	子どもの保健Ⅰ	2	2		
	精 神 保 健	2	2		
	学 校 保 健	1	2		
	救 急 処 置 法	1	2		
	救 急 処 置 実 習	1	1		
	保 健 統 計 学	3	2		
免許取得の最低単位数			28	0	

※ は、免許法施行規則に定める科目区分等における一般的包括的な内容を含む科目。

教職課程科目一覧

▼養教一種免（E215生）

③養護に関する科目					
免許施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備 考
	授 業 科 目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	衛 生 学	2	2		
	公 衆 衛 生 学	1	2		
	予 防 医 学	3	2		
	公 衆 衛 生 学 実 習	2		1	
学 校 保 健	学 校 保 健	1	2		
養 護 概 説	養 護 概 説	1	2		
	養護実務演習Ⅰ(健康管理)	2	1		
	養護実務演習Ⅱ(健康教育)	3	1		
健康相談活動の理論及び方法	健康相談活動の理論及び方法	2	2		
栄 養 学 (食品学を含む。)	栄 養 学	2	2		
	食 品 学	3	2		
解剖学及び生理学	解 剖 学	1	2		
	生 理 学	1	2		
「微生物学、免疫学、薬理概論」	微 生 物 学	2	2		
	免 疫 学	3	2		
	薬 理 概 論	2	2		
精 神 保 健	精 神 保 健	2	2		
看 護 学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	看 護 学	1	2		
	母 子 看 護 学	3	2		
	臨 床 実 習 Ⅰ	2通	2		
	臨 床 実 習 Ⅱ	3通	2		
	救 急 処 置 法	1	2		
	救 急 処 置 実 習	1	1		
	看護学実習Ⅰ(看護の基礎)	1～2	1		
看護学実習Ⅱ(看護ケア)	2～3	1			
免許取得の最低単位数			43	0	

保育士課程

保育士は、保育所、児童養護施設などで乳幼児から18歳に達するまでの子どもを保育するとともに、保護者に保育に関する指導を行うことを業とする専門職です。保育士資格は、児童福祉法に定められた国家資格で、これ以外の者が保育士を名乗ることは法律で禁止されています。

保育士資格は、児童福祉法、児童福祉法施行令、児童福祉法施行規則などに定められた科目を履修し、大学を卒業することにより取得できます。保育士には、保育、乳幼児心理、児童福祉、小児保健・栄養などに関する専門的知識と保育に関わる実践的技術を修得するとともに、人間や社会についての幅広い教養を身につけることが要請されます。保育士は専門職であるだけに、それを目指すようとする人は、目的意識を持って積極的に学習を進めることが必要になります。

保育実習について

保育実習は、保育現場を体験することにより、保育についての理解を深め、情熱を培い、真の保育者としての基盤をつくることを目的とします。

実習生は、保育者となるにふさわしい適性（人物・学力）を備えた学生であって、保育者になることを第一希望とする者です。したがって、品行、学業成績など実習生としてふさわしくないと判断された者は、実習をすることができません。

保育士課程の履修について（E115生）

（1）保育士課程の履修条件

保育士課程を履修するためには、原則として、次の履修条件を満たしていることが必要です。

- ② 2年次春学期終了時：
 - ①卒業単位数の内、60単位以上の単位を修得していること。
 - ② 2年次春学期までに開講されている「告示別表第1による教科目」の成績が次の条件を満たしていること。
 - 1. 「不可」が3科目以内であること。
 - 2. 「失格」がないこと。
- 2年次秋学期終了時：
 - ①卒業単位数の内、80単位以上の単位を修得していること。
 - ②「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」を修得していること。
 - ③ 2年次秋学期までに開講されている「告示別表第1による教科目」の成績が次の条件を満たしていること。
 - 1. 「不可」が3科目以内であること。
 - 2. 「失格」がないこと。
- 3年次春学期終了時：
 - ① 3年次春学期までに開講されている「告示別表第1による教科目」の成績が次の条件を満たしていること。
 - 1. 「不可」が3科目以内であること。
 - 2. 「失格」がないこと。
- 3年次秋学期終了時：
 - ①卒業単位数の内、110単位以上の単位を修得していること。
 - ② 3年次秋学期までに開講されている「告示別表第1による教科目」を

全て修得していること。

(2) 履修条件に満たない場合

- ・履修条件に満たない場合は、「保育実習」の実習先が決定していても、該当学年での「保育実習」はできません(実習は延期になります)。
- ・履修条件に満たない場合は、実習に関わる科目(「保育実習指導」「保育・教職実践演習(幼稚園)」)の履修はできません。それ以外の科目の履修はできます。
- ・なお、履修条件を満たしていても、学生としてふさわしくない言動のある者、身だしなみやマナーのよくない者など保育士となる資質が欠如していると判断される者も、該当学年での「保育実習」はできません(実習は延期になります)。

(3) 教職課程委員会の審査

履修条件を満たしているかどうかを確認するため、教職課程委員会で単位の修得状況等の審査を行います。その結果、指導が必要な者には、保育士課程履修に関する意思確認の面談・指導を行います。

資格取得の最低単位数について

本頁以降の表に示す「資格取得の最低単位数」及び授業科目は、本学の規定によるものです。

保育士ガイダンスについて

保育士課程履修者は、必ず保育士ガイダンスに出席してください。やむを得ない場合を除き、ガイダンスを欠席した者は保育士課程履修の意思が無いものとみなします。

ガイダンスの日時は学内掲示板にて連絡します。

【保育士】

▼(E115生)

告示による教科目			当該養成施設における教科の開設状況等				備考
系列	教科目	単位数	左記に対応する 開設授業科目	開講 年次	単位数		
					必修	選択	
教 養 科 目	外国語、体育以外の 科目	6 単 位 以 上	共生人間論Ⅰ(ブッダと法然)	1	2		
			共生人間論Ⅱ	3	2		
			キャリアデザインⅠ	1	2		
			キャリアデザインⅡ	1	2		
	外 国 語	2単位 以上	総合英語Ⅰ	1	1		
			英会話Ⅰ	1	1		
	体 育	1	健康と運動	1	2		
			スポーツ(バドミントン)	1		1	} 1科目 選択必修
			スポーツ(テニス)	1		1	
			スポーツ(バスケットボール)	1		1	
資格取得の最低単位数					12	1	

【保育士】

▼(E115生)

告示別表第1による教科目			当該養成施設における教科の開設状況等				備考
系列	教科目	単位数	左記に対応する 開設授業科目	開講 年次	単位数		
					必修	選択	
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理	2	保育原理	1	2		
	教育原理	2	教育原理	1	2		
	児童家庭福祉	2	児童家庭福祉	2	2		
	社会福祉	2	社会福祉論	3	2		
	相談援助	1	相談援助	3	1		
	社会的養護	2	社会的養護	2	2		
	保育者論	2	保育者論	1	2		
保育の対象の理解に 関する科目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学	2	2		
	保育の心理学Ⅱ	1	保育心理学演習	3	1		
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	2	2		
			子どもの保健Ⅱ	2	2		
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健（演習）	3	1		
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2		
	家族支援論	2	家族支援論	3	2		
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	2	保育課程論	2	2		
	保育内容総論	1	保育内容総論	1	2		
	保育内容演習	5	保育内容（健康）	1	2		
			保育内容（人間関係）	1	2		
			保育内容（環境）	1	2		
			保育内容（言葉）	1	2		
			保育内容（表現）	2	2		
	乳児保育	2	乳児保育	2	2		
	障害児保育	2	障がい児保育	3	2		
社会的養護内容	1	社会的養護内容	3	1			
保育相談支援	1	保育相談支援	3	1			
保育の表現技術	4	音楽Ⅰ	1	2			
		音楽Ⅱ	1	1			
		図画工作Ⅰ	2	2			
		子ども体育Ⅰ	1	2			
		言語表現	2	1			
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ	2	4		
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ	2~3	2		
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習〔幼稚園〕	4	2		
資格取得の最低単位数					61	0	

【保育士】

▼(E115生)

告示別表第2による教科目			当該養成施設における教科の開設状況等				備考
系列	教科目	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講年次	単位数		
					必修	選択	
保育の本質に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容に関する科目 保育の表現技術	各指定保育士養成施設において設定	15単位以上	保育環境論	3	2	1科目 選択必修	
			家族関係論	4			2
			教育心理学	2	2		
			子ども理解	3	2		
			発達臨床心理学	3	2		
			レクリエーション論	4	2		
			子ども体育Ⅱ	2	2		
			音楽Ⅲ	2			1
			音楽Ⅳ	2			1
			図画工作Ⅱ	2	2		
保育実習	保育実習Ⅱ 又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ(保育所)	3		2	1科目 選択必修
			保育実習Ⅲ(施設)	4		2	
	保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ(保育所)	3		1	1科目 選択必修
			保育実習指導Ⅲ(施設)	4		1	
資格取得の最低単位数					14	4	

学校図書館司書教諭課程

学校図書館司書教諭とは

学校図書館法では、学校図書館の専門的職務を担う教員として、「司書教諭」を学校に置くこととしています。（学級数が合計12学級以上の学校には、必ず司書教諭を置かなければなりません。）

司書教諭は、教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。

司書教諭の資格

司書教諭の資格は、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭の免許状を取得するとともに、所定の機関で司書教諭講習を受講し所定の単位を取得することが必要です（学校図書館法、学校図書館司書教諭講習規程）。

ここでいう司書教諭講習とは、当学においては、以下の「学校図書館司書教諭課程科目一覧」にある科目の履修を指します。

つまり、教職課程と司書教諭課程の2つの課程を履修することとなります。

履修科目

下表のとおり、5科目10単位を履修し習得しなければなりません。

学校図書館司書教諭課程科目一覧

学校図書館司書教諭講習課程の科目名	開講科目	開講年次	単位数	備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	2	免許・資格関連科目
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	3	2	免許・資格関連科目
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	2	免許・資格関連科目
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	3	2	免許・資格関連科目
情報メディアの活用	視聴覚メディア論	3	2	免許・資格関連科目
資格取得の最低単位数			10	

ピアヘルパー資格

ピアヘルパーとは…

ピアヘルパーの「ピア(Peer)」は「仲間」、「ヘルパー(Helper)」は「助ける人」という意味です。したがって、ピアヘルパーは「仲間を助ける人」ということとなります。年上・年下を問わず、仲間という意識をもち対等な立場で、私たちが日常生活をおくる中で出合う問題や困難を一緒に考えたり、乗り越えるための支えになったりする相談相手や支援者のことです。

ピアヘルパー資格を得るためには…

ピアヘルパーは、NPO 日本教育カウンセラー協会（以下、日本教育カウンセラー協会）が認定する資格です。この資格を得るためには、次の2つの要件を満たさなければなりません。

- ①日本教育カウンセラー協会が指定する科目（指定科目）を3科目履修し、合計6単位修得していること、または修得見込みであること。指定科目については、下表「ピアヘルパー資格取得に関する指定科目」を参照してください。
- ②日本教育カウンセラー協会が実施する資格認定試験（筆記試験）を受験し、合格すること。

ピアヘルパー資格取得に関する指定科目

授業科目	単位数	授業方法
教育心理学	2	講義
発達心理学	2	講義
カウンセリング	2	講義
合計	6	

ピアヘルパーの認定を受けると…

カウンセリングやそれに関連する心理学の理論や方法について学習し、教育・福祉・保育などの現場で、人とかかわるために必要な基本的な知識や技法を学んだことが証明されます。この資格を得た後さらに実務や研修を積むことで、日本教育カウンセラー協会が認定する初級、中級、そして上級教育カウンセラーといった上位資格取得を目指すことが可能となります。

受験するためには…

受験要領および受験料などの詳細については、教育学部2年生を対象にガイダンスを行います。必ず出席してください。